議会運営委員会要点記録

○開会日時 令和6年8月22日(木) 午前10時

○場 所 伊東市役所第2委員会室

○出席委員 6名

1番	佐藤 周 君	2番	井戸 清司 君
3番	河島 紀美恵 君	4番	宮崎 雅薫 君
5番	長沢 正 君	6番	杉本 一彦 君

○出席議員 8名

議長	中島 弘道 君	副議長	青木 敬博 君
議員	村上 祥平 君	議員	杉本 憲也 君
〃	鈴木 絢子 君	〃	竹本 力哉 君
〃	篠原 峰子 君	〃	大川 勝弘 君

○オブザーバー 5名

議員	犬飼 このり 君	議員	田久保 眞紀 君
〃	重岡 秀子 君	〃	浅田 良弘 君
〃	四宮 和彦 君		

○出席議会事務局職員 5名

局長	富岡 勝	局長補佐	里見 和彦
係長	福王 雅士	主査	野田 昌伸
主事	高橋 綾		

○会議に付した事件

- 1 市議会9月定例会の運営について
 - (1) 特別委員会中間報告について
 - (2) 議案の付託、即決について
 - (3) 人事案の取扱いについて
 - (4) 請願、陳情の取扱いについて
 - (5) 決算大綱質疑について
 - (6) 一般質問について
 - (7) 会期及び日程について
 - (8) 市議会採択の請願、陳情の処理状況について
 - (9) その他

2 意見書について

3 その他

(1) 令和5年度議会費等決算の概要について

(2) その他

○会議の経過概要

○委員長（宮崎雅薫君）開会する。

○委員長（宮崎雅薫君）日程第1、市議会9月定例会の運営についてを議題とする。本議題については、まず、(1) 特別委員会中間報告についてから、(6) 一般質問についてまでを協議、決定し、それを基に、(7) 会期及び日程についてを協議、決定していきたいと思う。それでは、(1)から(6)まで、事務局長から説明いたさせる。

○事務局長（富岡 勝君）市議会9月定例会の運営について順次、説明をする。(1) 特別委員会中間報告についてである。さきの6月定例会以降に開催された、議会改革特別委員会の中間報告を、初日の本会議において願います。

次に、(2) 議案の付託、即決についてである。資料の1ページから7ページまでをご覧願う。提出議案については、報告1件、条例3件、単行議案13件、補正予算4件、各会計決算10件及び人事案3件の合計34件である。

最初に、報告1件について申し上げる。市報第4号 令和5年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告については、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定に基づき、健全化判断比率である実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率と病院事業会計、水道事業会計、下水道事業会計の3会計の資金不足比率を報告するものである。本件については、報告であることから質疑のみとなる。

次に、条例3件について申し上げる。まず、市議第8号 令和6年4月1日以降における遺族扶助料の年額の改定に関する条例は、恩給法による恩給改定率の改定等に関する政令及び恩給法等の一部を改正する法律附則第14条の2第1項の年金たる給付等を定める政令の一部を改正する政令が公布、施行されたことに伴い、伊東市職員退職等による給与金支給条例に基づき給付する遺族扶助料について、令和6年4月1日以降の給付額を定めるため、新たに条例を制定するもので、令和6年4月1日からの適用として、公布の日から施行となる。常任総務委員会への付託をお願いする。

次の、市議第9号 伊東市税賦課徴収条例の一部を改正する条例は、伊東市総合計画の政策目標である、活力にあふれ交流でにぎわうまちの実現に向け、温泉資源の保護及び活用並びに

さらなる観光振興施策に取り組むため、その財源とすべく、宿泊に係る入湯税の税率を現行の標準税率150円から、超過税率を導入して300円に引き上げるとともに、併せて免税対象者を拡大するため規定を整備するもので、令和7年10月1日からの施行となる。常任総務委員会への付託をお願いする。

次の、市議第10号 伊東市国民健康保険条例の一部を改正する条例は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の施行により、令和6年12月2日から被保険者証が廃止されることに伴い、国民健康保険法における被保険者証の返還に応じない者に対する過料の規定が削除されることから、本条例における被保険者証の返還に応じない者に対する罰則規定を削除するとともに、条項の整理を行うもので、令和6年12月2日からの施行となる。常任総務委員会への付託をお願いする。

続いて、単行議案13件について申し上げる。まず、市議第11号 住民票の写し等の交付に関する事務の委託の廃止に係る協議についてから、市議第21号 住民票の写し等の交付に関する事務の委託の廃止に係る協議についてまでの11件は、平成11年11月から開始し、現在、本市を含めた駿豆地区8市4町で実施している住民票の写し等の交付に係る相互事務委託事業について、マイナンバーカードの普及や戸籍システムのネットワーク化等により、全国の自治体窓口及びコンビニエンスストア等においての取得が可能となり、相互事務委託の必要性がなくなってきたことから、事務協議会において、令和6年10月31日をもって事業を終結することとしたため、その委託廃止の協議について議決を求めるものである。本案11件は同一の趣旨であるので、一括で上程し、説明、質疑を行った後、委員会付託を省略し、一括での討論及び採決をお願いする。

次の、市議第22号 静岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更については、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の施行により、令和6年12月2日から被保険者証が廃止されることに伴い、静岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更することについて、地方自治法第291条の3第1項の協議を行うため、同法第291条の11の規定により、議会の議決を求めるものである。本案についても、これまでの例に倣い、即決でお願いする。

次の、市議第23号 令和5年度伊東市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分については、令和5年度伊東市下水道事業会計未処分利益剰余金1億3,842万1,477円のうち、5,724万6,612円を減債積立金へ積み立て、残りの8,117万4,865円を資本金へ組み入れることについて、地方公営企業法第32条第2項の規定により、議会の議決を求めるものである。

なお、本案については下水道事業会計決算と関連があるので、質疑は決算大綱質疑において

行うこととし、常任観光建設委員会への付託をお願いする。

続いて、補正予算4件について申し上げる。市議第24号 令和6年度伊東市一般会計補正予算（第3号）については、補正予算の規模は、9億4,124万6,000円の追加で、補正後の予算規模を316億9,777万5,000円とするものである。

歳出款別に主な補正内容を申し上げると、総務費では、庁舎維持管理事業における食堂設備等の修繕料や、対島出張所のレジスター購入費等経費、八幡野コミュニティセンター空調設備改修経費のほか、財政調整基金への積立金などを増額している。

民生費では、主に障害者自立支援事業や生活保護総務費などにおける、令和5年度事業費確定に伴う国庫支出金及び県支出金の返還金のほか、国基準単価改正に伴う私立保育園等への委託料や運営費補助金の増額などを計上している。

衛生費では、予防接種事業における新型コロナウイルスワクチン定期接種化に伴う経費の追加などをはじめ、母子保健事業などにおいて、令和5年度事業費確定に伴い国庫支出金及び県支出金の返還金を計上しているほか、調査の結果、損傷が著しい環境美化センター焼却炉の緊急修繕工事費やごみ減量・再資源化推進事業における生ごみ処理容器等購入費助成金の増額などを計上している。

農林水産業費では、いとう漁業協同組合が実施する、富戸漁港内のダイビング関連施設整備事業に対する補助金の追加などを計上し、観光商工費では、地域活性化の取組として、市街地に広場を整備するための経費の追加と、不足が見込まれる住宅リフォーム振興事業補助金や店舗リフォーム振興事業補助金の増額などを計上している。

消防費では、自主防災会へ配備する防災資機材の購入経費の増額などを計上しているほか、教育費においても、幼稚園管理費において、令和5年度事業費確定に伴う国庫支出金及び県支出金の返還金を計上している。

これらの歳出を賄う歳入として、国県の補助金や前年度繰越金、地方債を追加計上するとともに、令和5年度決算の状況から、ふるさと伊東応援基金繰入金を増額計上して、財源の振替をしており、また、指定ごみ袋製造運搬委託業務及び地域污水处理施設維持管理委託業務の2件の債務負担行為の設定を行うこととしている。

なお、本会議における質疑については、4つに区分し、1つ目として歳出第2款総務費、第3款民生費及び第4款衛生費、2つ目として第6款農林水産業費、第7款観光商工費及び第8款土木費、3つ目として第9款消防費、第10款教育費及び第14款予備費、4つ目として歳入全般、債務負担行為の補正及び地方債の補正、以上4つに区分して質疑を行い、各所管常任委員会への分割付託とさせていただきたいと存ずる。

次に、市議第25号 令和6年度伊東市競輪事業特別会計補正予算（第1号）については、

補正予算の規模は、8億3,500万円の追加で、補正後の予算規模を301億6,500万円とするものである。歳入において、令和5年度歳入歳出決算確定による繰越金を整理するほか、歳出においては、令和5年度の子券売上げが好調であったことから、選手賞金や出場手当の増額をはじめ、開催運営委託におけるインセンティブ増に伴う委託料の増額や、地方公共団体金融機関納付金を増額計上している。常任観光建設委員会への付託をお願いする。

次に、市議第26号 令和6年度伊東市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）については、補正予算の規模は、793万2,000円の追加で、補正後の予算規模を85億5,393万2,000円とするものである。歳入において、令和5年度歳入歳出決算確定に伴い基金繰入金と繰越金を整理するほか、歳出においては、令和6年12月2日の被保険者証廃止に伴う資格確認書交付開始等に対応するためのシステム改修経費等を追加計上している。常任総務委員会への付託をお願いする。

次に、市議第27号 令和6年度伊東市下水道事業会計補正予算（第1号）については、補正内容は、中継ポンプ場、湯川終末処理場、荻・十足処理区マンホールポンプ、かわせみ浄化センターの4施設における、令和7年度から令和9年度及び令和10年6月までの計3年3か月間の施設維持管理業務を委託するに当たり、今年度中に業者選定を行うため、債務負担行為の追加を行うものである。常任観光建設委員会への付託をお願いする。

続いて、決算について申し上げる。市認第5号 令和5年度伊東市一般会計歳入歳出決算から市認第14号 令和5年度伊東市水道事業会計決算までの10件は、一般会計をはじめとした10の会計の令和5年度歳入歳出決算の認定を求めるもので、申合せにより、決算大綱質疑をお願いする。定例会初日、市長による概要説明に続き、所管部長の説明までを行い、日を改めて決算大綱質疑を経て、一般会計決算は各所管常任委員会への分割付託とし、各特別会計決算及び企業会計決算については、各所管常任委員会への付託をお願いする。なお、先ほど説明申し上げた市議第23号の単行議案については、関係する下水道事業会計決算と併せて審議することとし、決算大綱質疑の後、常任観光建設委員会への付託をお願いする。したがって、決算10件及び当該単行議案の本会議における質疑については、一括議題として決算大綱質疑により行い、決算大綱質疑終了後、各所管常任委員会への付託をお願いする。

続いて、(3) 人事案の取扱いについてである。資料8ページをご覧ください。まず、市選第1号教育委員会委員任命の同意については、令和6年9月30日に任期満了となる教育委員会委員村上恵宏氏の後任者の任命の同意を求めるものである。次に、市選第2号 監査委員選任の同意については、令和6年9月30日に任期満了となる監査委員杉山雅男氏の後任者の選任の同意を求めるものである。次に、市諮第1号 人権擁護委員候補者の推薦については、令和6年12月31日に任期満了となる人権擁護委員堀川珠代氏の後任者の推薦について、意見を求め

るものである。以上、人事案3件については、最終本会議において、市長の説明の後、申合せにより、質疑、討論を省略して決定いただきたいと思う。

続いて、(4) 請願、陳情の取扱いについてである。さきの6月定例会以後、これまでに受理した陳情等は3件である。

1件目は、7月3日に郵送受理した、東京都荒川区在住の〇〇〇氏からの「王乖彦さんの早期救出を求める意見書の提出を求める陳情」で、7月3日に参考配付させていただいた。2件目は、8月14日に郵送受理した、静岡県保険医協会理事長 〇〇〇氏からの「現行の保険証の存続を求める意見書」採択に関する陳情で、8月14日に参考配付させていただいた。

資料11ページ及び12ページをご覧ください。3件目は、8月1日に受理した、静岡県教職員組合東豆支部支部長 〇〇〇氏からの「教職員の人材確保及び学校の働き方改革に向けた教育施策の実現を求める意見書」提出を求める陳情である。本件は、持参による意見書の提出を求める陳情であるため、この後議題となる、2 意見書についてで協議をお願いします。

なお、議会運営委員会以後に提出された請願、陳情の取扱いに関しては、議長において、議会運営委員長及び所管常任委員長と協議の上、決定いただくこととなるので、申し添える。

次に、(5) 決算大綱質疑についてである。申合せにより、決算概要説明及び決算に係る議案に対して、会派及び会派に所属していない議員により決算大綱質疑をお願いします。持ち時間は、議員1人当たり答弁込みで20分とし、これまでの例により、2人会派に会派として5分を、会派に所属していない議員それぞれに5分を上乘せして、通告に基づきお願いします。なお、決算大綱質疑の通告期限は、9月2日(月)の正午までとなる。

順序については、大きい会派からとなるが、4人会派及び3人会派におけるそれぞれの順序は、ローテーションに基づき、4人会派は、自由民主 伊東、正風クラブの順、3人会派は、伊東未来、公明党の順とし、続いて2人会派の政和会、最後に、会派に所属していない議員となる。したがって、決算大綱質疑の順序及び質疑時間を改めて申し上げると、1番目自由民主伊東80分、2番目正風クラブ80分、3番目伊東未来60分、4番目公明党60分、5番目政和会45分、6番目から9番目までは会派に所属していない議員、1人25分となる。なお、会派に所属していない議員の順序については通告順となる。なお、午前中の大綱質疑が早く終了したとしても、その日の午後に予定されている最初の質疑者の開始時間は変えないようにして行うので、あらかじめご了承のほどをお願いします。また、大綱質疑をされる議員におかれては、あらかじめ当局とのヒアリングを経て通告をいただいていることと思うが、質疑の趣旨を的確に伝え、的確な答弁が得られるよう、あらかじめ通告の案文を用意して臨むことを基本として、議員と当局の双方で内容を確認しながら進めていただくよう、お願い申し上げます。

次に、(6) 一般質問についてである。申合せにより、答弁込みの持ち時間50分以内として、

決算大綱質疑の後に一般質問を行う。一般質問の順序について申し上げる。会派の構成は4人の中会派及び3人の小会派がそれぞれ2つ、2人会派が1つとなっているので、会派の順序は、これまでの例により、中、中、小、中、小、中、2人会派の順とし、以下これを繰り返し、最後に会派に所属していない議員となる。4人会派及び3人会派におけるそれぞれの順序については、これまでのローテーションに基づき、4人会派は自由民主 伊東、正風クラブの順、3人会派は伊東未来、公明党の順で願います。したがって、1番目自由民主 伊東、2番目正風クラブ、3番目伊東未来、4番目自由民主 伊東の2人目、5番目公明党、6番目正風クラブの2人目、7番目政和会の順序となり、これを繰り返し、最後に、会派に所属していない議員とする。なお、会派に所属していない議員の順序については通告順となる。

通告期限については、申合せにより、告示日の8月21日（水）から、決算大綱質疑の通告期限の前開庁日である8月30日（金）の正午までとなるが、通告期限にかかわらず、極力早めの通告に協力いただくようお願い申し上げます。また、一般質問をされる議員におかれては、繰り返しになるが、あらかじめ当局とのヒアリングを経て通告をいただいていることと思うが、質問の趣旨を的確に伝え、的確な答弁が得られるよう、あらかじめ通告の案文を用意して臨むことを基本として、議員と当局の双方で内容を確認しながら進めていただくとともに、決算に係る内容及び他の提出議案に直接触れないようお願いする。

以上で、(1) 特別委員会中間報告についてから、(6) 一般質問についてまでの説明を終わる。

○委員長（宮崎雅薫君）まず、(1) 特別委員会中間報告について質疑、意見を伺う。発言を許す。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（宮崎雅薫君）質疑、意見なしと認める。これをもって質疑、意見を終結する。

特別委員会中間報告については、説明のとおり決定することにご異議ないか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（宮崎雅薫君）ご異議なしと認め、さよう決定した。

次に、(2) 議案の付託、即決について質疑、意見を伺う。発言を許す。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（宮崎雅薫君）質疑、意見なしと認める。これをもって質疑、意見を終結する。

議案の付託、即決については、説明のとおり決定することにご異議ないか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（宮崎雅薫君）ご異議なしと認め、さよう決定した。

次に、(3) 人事案の取扱いについて質疑、意見を伺う。発言を許す。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（宮崎雅薫君）質疑、意見なしと認める。これをもって質疑、意見を終結する。

人事案の取扱いについては、説明のとおり決定することにご異議ないか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（宮崎雅薫君）ご異議なしと認め、さよう決定した。

次に、(4) 請願、陳情の取扱いについて質疑、意見を伺う。発言を許す。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（宮崎雅薫君）質疑、意見なしと認める。これをもって質疑、意見を終結する。

請願、陳情の取扱いについては、説明のとおり決定することにご異議ないか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（宮崎雅薫君）ご異議なしと認め、さよう決定した。

次に、(5) 決算大綱質疑について質疑、意見を伺う。発言を許す。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（宮崎雅薫君）質疑、意見なしと認める。これをもって質疑、意見を終結する。

それでは、決算大綱質疑を行うかどうか、各会派に伺う。

○1番（佐藤 周君）行う。

○2番（井戸清司君）行う。

○5番（長沢 正君）行う。

○6番（杉本一彦君）行わない。

○委員長（宮崎雅薫君）なお、あらかじめ議長において、内々、政和会及び会派に所属していない議員に確認をさせていただいたところ、政和会と会派に所属していない議員のお三方が実施されるとのことであるので、実施者数については、最大4会派及び会派に所属していない議員3人ということで調整し、決定させていただきたい。これにご異議ないか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（宮崎雅薫君）ご異議なしと認め、さよう決定した。

発言の順序について、事務局長から説明する。

○事務局長（富岡 勝君）ただいまの実施人数を踏まえ、決算大綱質疑の発言の順序について申し上げます。第1日目、1番目自由民主 伊東、2番目正風クラブ、3番目公明党、第2日目、1番目政和会、2番目会派に所属していない議員の1人目、3番目会派に所属していない議員の2人目、4番目会派に所属していない議員の3人目となる。

○委員長（宮崎雅薫君）決算大綱質疑については、決算審議に係る大綱の質疑とし、会派及び会派に所属していない議員により関連質疑なしで実施する。また、発言の順序についても、説明のとおりでお願いします。以上のとおり決定することに、ご異議ないか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（宮崎雅薫君）ご異議なしと認め、さよう決定した。

なお、通告期限については、9月2日（月）の正午までとしているので、ご留意願う。

次に、(6) 一般質問について、質疑、意見を伺う。発言を許す。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（宮崎雅薫君）質疑、意見なしと認める。これをもって質疑、意見を終結する。

それでは、各会派における一般質問の実施者数を順次、お知らせ願う。

○1番（佐藤 周君）2人である。

○2番（井戸清司君）2人である。

○5番（長沢 正君）1人である。

○6番（杉本一彦君）1人である。

○委員長（宮崎雅薫君）なお、あらかじめ議長において、内々、政和会及び会派に所属していない議員に確認をさせていただいたところ、政和会はお二方が、会派に所属していない議員は4名の方が実施されるとのことであるので、ただいま伺った各会派の実施人数と合わせ、発言者の人数については、12人ということで調整し、決定させていただく。これにご異議ないか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（宮崎雅薫君）ご異議なしと認め、さよう決定した。

発言の順序について、事務局長から説明する。

○事務局長（富岡 勝君）ただいまの実施人数を踏まえ、一般質問の順序を申し上げる。第1日目については、1番目自由民主 伊東1人目、2番目正風クラブ1人目、3番目伊東未来、4番目自由民主 伊東2人目、5番目公明党となる。第2日目については、1番目正風クラブ2人目、2番目政和会1人目、3番目政和会2人目、4番目会派に所属していない議員1人目、5番目会派に所属していない議員2人目となる。第3日目については、1番目会派に所属していない議員3人目、2番目会派に所属していない議員4人目となる。

○委員長（宮崎雅薫君）一般質問については、1人50分以内、関連質問なしで実施する。また、質問の順序についても、説明のとおり願う。以上のとおり決定することにご異議ないか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（宮崎雅薫君）ご異議なしと認め、さよう決定した。なお、通告期限については、決算大綱質疑通告期限の前開庁日である、8月30日（金）の正午までとしているのでご留意願う。また、告示日以後、通告ができるので、決算大綱質疑の通告と重ならぬよう、できる限り早めに提出いただくようご協力をお願いする。

次に、(7) 会期及び日程についてから(9) その他まで、事務局長から説明いたさせる。

○事務局長（富岡 勝君）まず、(7) 会期及び日程についてである。資料9ページ及び10ペー

ジをご覧願う。会期は、8月28日（水）から9月27日（金）までの31日間の提案である。

先ほどの大綱質疑及び一般質問の実施人数を踏まえ、順を追って説明する。8月28日（水）は、開会、議事に入り、会期の決定、特別委員会中間報告、決算概要説明に引き続き、決算10件、決算と関連のある市議第23号に係る説明の後、条例3件、単行12件、補正予算4件の説明をお願いしたい。29日（木）は本会議なし、30日（金）は一般質問通告期限、31日（土）及び9月1日（日）は休会、2日（月）は決算大綱質疑の通告期限となる。3日（火）及び4日（水）は本会議なし、5日（木）は決算大綱質疑の1日目、翌6日（金）は本会議なし、7日（土）及び8日（日）は休会、9日（月）は決算大綱質疑の2日目とし、決算大綱質疑終結後、決算10件及び決算と関連のある市議第23号の所管常任委員会への付託をお願いする。10日（火）は一般質問の1日目、11日（水）は一般質問の2日目、12日（木）は本会議なし、13日（金）は一般質問の3日目で、お二人の質問終了後、議案審議に入り、条例3件及び補正予算4件の所管常任委員会への付託、並びに単行議案12件の即決をお願いする。14日（土）から16日（月）までは休会、17日（火）は福祉文教委員会を第2委員会室において午前10時からお願いする。18日（水）は本会議なし、19日（木）は常任観光建設委員会を、20日（金）は常任総務委員会を、それぞれ第2委員会室で午前10時からお願いする。21日（土）から23日（月）までは休会、24日（火）及び25日（水）は本会議なし、26日（木）に議会運営委員会、27日（金）を最終本会議とし、委員会付託案件及び当局提出の人事案3件の決定をお願いする。

次に、(8) 市議会採択の請願、陳情の処理状況については、告示に際し、議案とともにお手元に配付されているので、ご確認のほどお願いする。

最後に、(9) その他について事務局からは、特になし。以上である。

○委員長（宮崎雅薫君）まず、(7) 会期及び日程について、質疑、意見を伺う。発言を許す。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（宮崎雅薫君）質疑、意見なしと認める。これをもって質疑、意見を終結する。

会期及び日程については、説明のとおり決定することにご異議ないか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（宮崎雅薫君）ご異議なしと認め、さよう決定した。

次に、(8) 市議会採択の請願、陳情の処理状況について質疑、意見を伺う。発言を許す。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（宮崎雅薫君）質疑、意見なしと認める。これをもって質疑、意見を終結する。

市議会採択の請願、陳情の処理状況については、説明のとおり了承願う。

次に、(9) その他について、事務局からはないとのことであるが、市議会9月定例会の運営

について、委員から何かあったら、質疑、意見を伺う。発言を許す。

○**オブザーバー**（四宮和彦君）決算大綱質疑の2日目のスケジュールがどのようになるのか説明していただきたい。4人とも登壇時間が短く、政和会が45分で、会派に所属していない議員3人が25分ずつとなると、詰め込んでしまえば午前中で終わってしまうのではないかという時間にしかない。もし通常通りにやるとすると、会派に所属していない議員の2人目まで午前中に行い、昼食休憩の後再開して、午後は25分で終わるといった感じになるのか。

○**事務局長**（富岡 勝君）四宮議員のおっしゃるように、1番目の政和会が10時から10時45分まで、10分休憩の後、会派に所属していない議員の1人目が10時55分から11時20分までとなり、引き続き、会派に所属していない議員の2人目が11時20分から11時45分までとなる。昼休憩の後、会派に所属していない議員の3人目が午後1時から午後1時25分までの予定となっている。

○**委員長**（宮崎雅薫君）暫時休憩する。

午前10時37分休憩

午前10時39分再開

○**委員長**（宮崎雅薫君）休憩前に引き続き、会議を開く。

決算大綱質疑についてであるが、2日目の9月9日（月）は、午前中に4名の議員が質疑を行う日程で決定することにご異議ないか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○**委員長**（宮崎雅薫君）ご異議なしと認め、さよう決定した。

ほかに質疑はないか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**委員長**（宮崎雅薫君）質疑、意見なしと認める。これをもって質疑、意見を終結する。

以上で日程第1、市議会9月定例会の運営についてを終了する。

○**委員長**（宮崎雅薫君）日程第2、意見書についてを議題とする。今定例会に提起された意見書案は、意見書提出を求める陳情及び議長提案の2件である。まず、静岡県教職員組合東豆支部支部長〇〇〇氏から、持参により提出された、1件の意見書の提出を求める陳情について、その意見書案を職員をして朗読いたさせる。資料は、11ページ及び12ページになる。

〔事務局職員 意見書案朗読〕

○**委員長**（宮崎雅薫君）次に、議長提案の意見書案について、事務局長から説明いたさせる。資料は、13ページから15ページまでになる。

- 事務局長**（富岡 勝君）議長提案の意見書案について説明する。地震財特法の延長に関する意見書（案）の採択について、静岡県危機管理監から静岡州市議会議長会会長への依頼を受け、去る7月24日、県議長会から文書により協力要請があった。静岡県において、東海地震による災害から県民の生命と財産の安全を確保するため、地震対策緊急整備事業計画を定め、各種地震対策事業を推進するとともに、各市町において、当該計画に基づき各般にわたる地震対策を講じているところであるが、この計画は、限られた計画期間内において達成可能な必要最小限の事業について定めたものであり、東日本大震災や能登半島地震をはじめとする近年の地震災害の教訓を踏まえ、今後実施すべき事業が数多く残されている中で、同計画の策定及び推進のよりどころとなる、地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律、いわゆる地震財特法が、令和7年3月31日に期限を迎えることから、地震対策の一層の充実を図るため、地震財特法を延長することを国に要望するものである。
- 委員長**（宮崎雅薫君）提起された意見書案の取扱いについては、最終本会議前の本委員会において、協議、決定することとなるが、今後の協議、調整に資するため、各会派及び会派に所属していない議員から、順次、2件一括してご意見を伺う。
- 1番**（佐藤 周君）どちらも前向きに考えてはいるが、会派として結論は出ていない。
- 2番**（井戸清司君）まだ会派で調整していない。1点確認したいが、議長提案の意見書について、地震防災対策強化地域にある自治体が、地震対策緊急整備事業計画に基づいて実施する事業の財源の確保をお願いする内容であると思うが、国から直接、補助金等が市町に支払われる制度になっているか。おそらく、県に支払われる補助金の確保をお願いする意見書ではないかと理解している。
- 事務局長**（富岡 勝君）県が整備事業計画を策定し、それを踏まえて、各市町で事業を行っているという理解している。具体的に、どのような事業を実施しているかは把握していないが、枠組みはそのようになっている。
- 2番**（井戸清司君）例えば、事業計画に基づいて、本市で事業を実施する場合、国からの補助金等は、県を経由して交付されるのではなく、国から市へ直接支払われるのか。
- 事務局長**（富岡 勝君）県からの補助になると思われる。
- 5番**（長沢 正君）両方ともこれから協議する。
- 6番**（杉本一彦君）前向きな方向で調整中である。
- オブザーバー**（四宮和彦君）2件とも賛成である。
- オブザーバー**（犬飼このり君）細かく勉強して考えたい。
- オブザーバー**（田久保真紀君）持ち帰って検討する。
- オブザーバー**（重岡秀子君）基本的には賛成できるが、検討する。

- オブザーバー（浅田良弘君）内容等を精査させていただきたい。
- 委員長（宮崎雅薫君）ただいま伺ったところ、提起された2件の意見書案について、各会派及び会派に所属していない議員全員から賛同を得るまでには至っていない。したがって、調整が必要な意見書案について、私、委員長において、それぞれ調整を行い、最終本会議前の本委員会において、その取扱いについて、協議、決定することとする。
- 1番（佐藤 周君）資料12ページの教育施策の実現を求める意見書（案）について、大勢に影響はないが、日本語としていかがかと思われる箇所がある。4行目の「人材バンク等を活用したりする等の対策を講じていますが、教育現場の実感を伴う施策には至っていないのが現状です。」とあるが、「教育現場の改善が実感できる施策には至っていない。」と言い換えたほうが、日本語としていいと思われる。
- 委員長（宮崎雅薫君）提出者には文言の修正は可能であると事務局が確認していることから、ほかの会派からも修正点があれば、事務局に申入れをしていただきたい。
- 以上で、日程第2、意見書についてを終了する。

-
- 委員長（宮崎雅薫君）日程第3、その他を議題とする。(1) 令和5年度議会費等決算の概要について及び(2) その他について、事務局長から説明いたさせる。
- 事務局長（富岡 勝君）その他について申し上げる。まず、(1) 令和5年度議会費等決算の概要についてである。

最初に、歳出について説明する。資料17ページ及び18ページをご覧ください。

歳出は、事務局職員の人件費と議会関係費の2つの事業を総括した決算状況になっている。

節ごとに説明する。1節報酬は、8,653万6,971円で議員20人分の報酬である。2節給料2,382万8,400円は、事務局職員6人分の給料である。3節職員手当等4,475万3,629円は、議員期末手当のほか、事務局職員の各種手当に要した経費である。なお、不用額323万2,371円が生じた要因については、昨年9月に執行の市議会議員選挙により、新人議員4人及び元職議員1人を含め、新たな市議会が構成されたが、当該5人の議員の12月に支給した期末手当については、在職期間が3か月未満であるため、100分の30の支給額となったことが主なものである。4節共済費3,348万1,131円は、議員の共済給付負担金等と事務局職員の共済組合負担金等である。5節災害補償費は支出がなかった。

7節報償費5,000円は、視覚障がい者への情報提供として行っている議会報の音訳に係る音訳サークルへの謝礼品代である。なお、令和5年度においても議員研修会の開催を見送ったため、講師謝礼の支出はなかった。8節旅費340万7,550円のうち、費用弁償291

万4, 347円は、各種議長会、議員行政視察及び議員調査活動の旅費等に係る経費であり、普通旅費45万683円は、各種議長会や議員行政視察の随行等に係る事務局職員の旅費で、研修旅費4万2, 520円は、事務局職員を対象とした全国市議会議長会主催の研修会等に要した旅費である。なお、不用額153万9, 450円が生じた要因に関して、議員行政視察については、当該予算240万円に対し、決算額148万4, 657円、執行率は61.9%で、91万5, 343円の不用額を生じ、また、議員調査活動については、当該予算160万円に対し、決算額119万6, 180円、執行率は74.8%で、40万3, 820円の不用額を生じているが、視察等に際して、想定よりも費用を要しなかったことが主な要因である。あわせて、昨年9月に市議会議員選挙があったことから、先例に倣い、改選前における視察等は控えるとともに、改選後は、常任委員会による議員行政視察を実施した後、議員調査活動を実施するとしたことなど、行政視察等の実施に係る制約があったことも、要因の一つと考えている。

9節交際費37万5, 325円は、議会が対外的な活動を行うために必要な経費として、諸行事において贈呈する記念品購入代、各種団体の総会等出席に伴う負担金や協賛金、また、慶弔費、義援金などに支出した。なお、令和5年度は、コロナウイルス感染症の5類への移行による社会経済活動の正常化に伴い、各種団体において総会等が再開されるようになったこと、また、全国市議会議長会からの要請に基づき、令和6年能登半島地震に対する義援金を拠出したことから、対前年度比15万3, 434円、率にして69.1%の増加となっている。

10節需用費298万4, 238円は、官報、新聞、雑誌等購読料、法規等追録代、プリンターのトナー代等の消耗品費、議会車の燃料費、来客用煎茶等の食糧費、議会だより等の印刷製本費、議会車の点検一式に係る修繕料である。不用額48万4, 762円が生じた要因については、議会だよりの契約単価減による契約差金が主なものであるが、調達方法を見直し、広報いとう及び農業委員会だよりと一括して見積り合わせを行うなど、経費節減に努めている。

11節役務費14万5, 912円は、電話やファクス、インターネット接続料の通信運搬費等である。12節委託料259万500円は、本会議や委員会の反訳委託料と会議録検索システムのデータ作成委託料である。不用額10万9, 500円が生じた要因については、改選前の9月定例会において、先例に倣い、一般質問を実施しなかったこと等により、会議時間の減少に伴い反訳委託料が減少したことから、対前年度比17万7, 089円、率にして6.4%の減となっている。

13節使用料及び賃借料107万6, 620円は、会議録検索システムの使用料や議員用パソコンの機械器具借上料、視察時のバス等の借上料、議長会等出張時の有料道路通行料などが主なものである。17節備品購入費4万4, 330円は、図書購入費として、議会図書室用図書6冊を購入した。図書の内容については、議員からの要望に応じて購入した法令の逐条解説

書のほか、議会運営や財務会計事務に関する書籍である。18節負担金補助及び交付金116万8,740円は、各種議長会の負担金、行政視察や議員調査活動に要した研修費負担金、議員団体定期保険料が主なものである。令和5年度は、コロナウイルス感染症の5類への移行により、社会経済活動が正常化していく中、遠方での議長会等も再開されるようになったことから、予算執行率は前年度の77.2%から100%に上昇している。研修会等負担金が前年度に比べ25万2,200円増加した要因については、個人調査活動費として1人80,000円の旅費があるものの、政務活動費が支給されていないことを踏まえ、議員研修会等への参加に要する費用として、参加者負担金等に限定した予算流用が認められていることから、これによる議員研修会への参加費用を所要したことや、最近では、行政視察を実施する際に、相手先の団体への視察研修費等を要するケースが増えており、これによる研修費を所要したことが主な要因である。

以上が歳出決算の内訳で、令和5年度決算額は対前年度比152万1,373円、率にして0.8%増の2億39万8,346円で、予算額2億684万5,000円に対し、執行率は96.9%となっている。

次に、歳入について説明する。資料16ページをご覧ください。第21款諸収入第6項第3目雑入の4節雑入は、当初予算には計上していないが、令和4年度に掛けた全国市議会議員互助会団体定期保険の配当金と、情報公開に伴うコピー代金の合計3万6,178円を受け入れた。以上が、令和5年度議会費決算の概要である。

次に、(2) その他であるが、事務局からはない。以上である。

- 委員長（宮崎雅薫君）まず、(1) 令和5年度議会費等決算の概要について、質疑、意見を伺う。発言を許す。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

- 委員長（宮崎雅薫君）質疑、意見なしと認める。これをもって質疑、意見を終結する。

令和5年度議会費等決算の概要については、説明のとおりご了承願う。

次に、(2) その他について、事務局からはないとのことであるが、委員から何かあれば伺う。発言を許す。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

- 委員長（宮崎雅薫君）質疑、意見なしと認める。これをもって質疑、意見を終結する。

以上で、日程第3、その他を終結する。

-
- 委員長（宮崎雅薫君）以上で日程全部を終了した。

これにて閉会する。

○閉会日時 令和6年8月22日（木）午前11時5分（会議時間1時間3分）

以上の記録を認める。

令和6年8月22日

委員長 宮崎雅薫